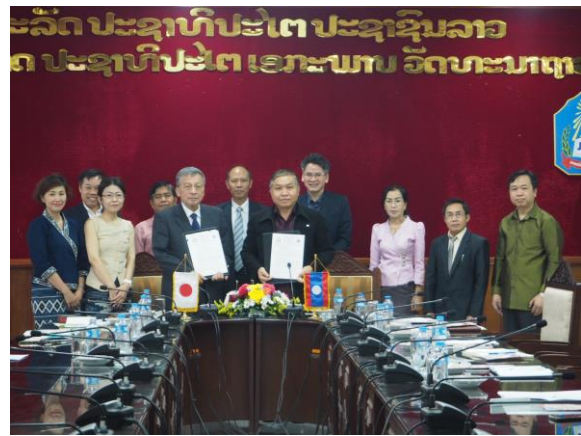




平成 31 年 1 月 31 日 (木)
愛知県立大学戦略企画・広報室
担当：
電話：

愛知県立大学とラオス国立大学は、 学術交流に関する国際協定を締結しました

愛知県立大学は、ラオス国立大学と学術交流に関する国際交流協定の締結に向けた協議を重ね、1月29日(火)ラオス国立大学において両者による協定締結式を行いました。(現地時間)主に本学の学生を対象としたラオス語学習と国際協力実習を組み込んだショートプログラムを、早ければ2021年3月に実施することを検討しています。



協定締結日	2019年1月29日(火)9:30～(現地時間)
会場	ラオス国立大学
出席者	<p>【ラオス国立大学】 Prof. Dr. Somsy Gnophanxay (President of NUOL) Assoc. Prof. Dr. Sengdeuane Wayakone, (Director of Office of International Relations) Assoc. Prof. Dr. Bouadam Sengkhambhoutlavong (Director of Cabinet Office) Assoc. Prof. Phosy Thipdavanh (Director of Personnel Affairs) Assoc. Prof. Dr. Khamphong Nammavongmixay (Director of Academic Affairs Office) Assoc. Prof. Dr. Thongsavay Boupha (Director of Post Graduate Studies Office) Dr. Sithixay Xayavong (Deputy Director of Research and Academic Service Office)</p> <p>【愛知県立大学(愛知県公立大学法人)】 愛知県公立大学法人理事長 鮎京正訓 外国語学部国際関係学科 准教授 矢野順子 国際交流室スタッフ</p>

教育研究機関名 英語及び原語名称	ラオス国立大学 National University of Laos
所在国・地域	ラオス人民民主共和国、ヴィエンチャン
協定内容（交換人数、授業料徴収有無等）	主に本学の学生を対象としたプログラムの実施を主とした学術交流協定。ラオス語学習と国際協力実習を組み込んだショートプログラムの実施を検討中。
協定機関の概要	首都ヴィエンチャンに1996年に創設された、ラオス初の総合大学。農学部、建築学部、経済・経営学部、教育学部、工学部、環境科学部、林学部、法政治学部、文学部、自然科学部、社会科学部、スポーツ科学・身体教育学部、水産資源学部の13学部からなる。文学部に日本語学科があるほか、キャンパス内にラオス・日本人材開発研究センターが設置されており、日本語を学ぶラオス人学生も多い。治安は比較的良好、日本がラオスの主要援助国であることから、対日感情も概ね良好である。
協定締結までの経緯	2017年3月、ラオス国立大学で学術交流に向けたミーティングを開始。2018年2月より2018年度中の交換協定の締結を目指し協議を開始。
日本における他の協定大学	東京外国語大学、名古屋大学、京都大学、神戸大学、埼玉大学、九州大学、上智大学、立命館大学、早稲田大学、明治大学など
協定締結の意義	検討中のプログラムはラオス語学習と国際協力実習の二本柱からなる。本学初の東南アジア地域でのショートプログラムとなり、本学外国語学部で2014年度から設置している「アジア・新興国プログラム」に組み込むことで、プログラムの活性化や学生間の学術交流の促進も期待できる。
今後の計画	2021年3月からのショートプログラム実施を検討し、今後はラオス語学習についてはラオス国立大学文学部、国際協力実習についてはNPO「ラオスのこども」と実施に向けて具体的な協議を行っていく。
本学窓口部局・教職員	外国語学部国際関係学科准教授・矢野順子 (専攻：東南アジア政治、東南アジア地域研究)